
令和 2(2020)年度事業報告(概要)

はじめに

昨年1月にわが国で初めての新型コロナウイルス感染者が報告されてから、早くも1年以上が経過したが、感染拡大に伴い昨年4月に初めての緊急事態宣言発出が決定した後も感染の波は収まらず、本年1月には2度目の宣言が再発出され、また本年4月には変異株の流行に伴い2度目の宣言解除から約1か月で3度目の宣言が再発出された。

国内経済は、長引くコロナ禍により企業経営に甚大な影響を受けたため、昨年4～6月期の国内総生産(GDP)が戦後最大の落ち込みを記録するなど、昨年はリーマン・ショック後の平成21(2009)年依頼11年ぶりのマイナス成長となった。兵庫県においては、日本銀行神戸支店の短観(短期経済観測調査)で昨年6月に業況判断DIがリーマン・ショック後以来の最低水準となるマイナス32(「良い」-「悪い」%ポイント)が示され、7月には有効求人倍率が4年11か月ぶりに1倍を下回るなど、県内企業の置かれている状況は厳しい。また3度目の宣言により、宿泊・飲食サービス業や小売業など対面型サービス業を中心に一段と下押し圧力がかかることが予想される。

このような中、会議所にあっては、昨年1月29日に「新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口」を設置し、資金繰りや雇用維持、経営全般といった数多くの相談に対応してきた。また、市内事業者の状況を把握するため4月に緊急アンケートを実施し、事業者の要望をとりまとめた後、6月に市長及び市議会議長宛に商店市場連盟と連名で「新型コロナウイルス感染症の影響長期化を踏まえた中小・小規模事業者の事業継続及び事業再開への支援に関する提言」を行った。7月には国の持続化給付金及び家賃支援給付金の申請状況に関するアンケート、9月には2回目となる緊急アンケートを実施し、これらの結果を事業者の要望として国・県・市へ届けるとともに、会議所の事業活動に反映させた。

これらのコロナ禍により厳しい状況にある市内事業者の支援を始め、「輝くひとづくり ものづくり ことづくり まちづくり ～西宮の企業を育て産業の未来を拓く～」のスローガンのもと、「第2次中期行動計画」で定めた3つの基本方針「企業力・地域力・組織力の強化」の実現に向け取り組んできた。

「企業力の強化」については、国の各種給付金申請をサポートする独自の申請支援体制(西宮モデル)を市とともに構築し多くの申請困難者への支援に取り組むとともに、雇用調整助成金の個別相談会や専門家派遣により事業者の雇用維持を支援し、600件を超える小規模事業者持続化補助金の申請支援により小規模事業者の販路開拓を支援するなど、コロナ禍により厳しい状況にある多くの事業者を支援してきた。また令和4(2022)年に開設する西宮起業家支援センターのあり方について企画委員会を発足し提言内容をとりまとめた。

「地域力の強化」については、第24回西宮酒ぐらルネサンスと食フェアがコロナ禍により中止となったが、代替の取り組みとして同イベントや市内酒造会社をPRする公式サイトを開設した。また地域資源として着目したコーヒーをテーマに「にしのみやコーヒーの扉プロジェクト」発足するとともに、市を舞台にした人気アニメコンテンツ「涼宮ハルヒ」と連携した商品や武庫川女子大学の学生のアイデアを活用した商品を開発し、西宮を代表するギフト商品として展開する取り組みを行った。

「組織力の強化」については、会員増強検討会議を推進し、第2次中期行動計画で定めた目標30件を上回る純増62件を達成し、期末会員数2,718件となった。オンライン対応にも取り組み、部会・委

員会活動においては、オンライン対応による関連セミナーを複数実施した。

「新商工会館の建設」については、新西宮商工会館建設推進特別委員会において基本計画の検証・見直しを行い、施工業者を決定し3月より建設に着手した。市内産業の発展を共に担う市との連携強化を図り、また各方面の理解を深めながら令和4(2022)年3月末の完成を予定している。

第1 企業力を強化する ～企業を育て持続的な発展を目指す～

【緊急対策事業 新型コロナウイルス対策事業】

(1) 新型コロナウイルスに関する経営相談窓口

設置 令和2年1月29日～ *全国商工会議所・商工会、政府系金融機関などに設置

場所 会議所内に常設

※緊急事態宣言が発出された期間については、感染防止対策として、商工会館内会議室へ場所を移し、完全予約制により相談業務を実施した

内容 資金繰り、雇用維持、各種補助金や給付金の申請支援を中心とした経営全般

(2) 国の給付金申請サポート西宮モデル事業(実施 9月23日～12月23日)

概要 国の持続化給付金及び家賃支援給付金の電子申請が困難な事業者に対して、相談やサポートを行う会場を毎週水曜日設置し、税理士および商工会議所の経営指導員が相談対応を行う。

場所 西宮商工会館

対象 市内事業者(個人事業主を含む)

担当税理士 9名(近畿税理士会 西宮市部より)

支援 持続化給付金：44件、家賃支援給付金：59件

(3) 緊急アンケートの実施

① 【1回目】 新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急アンケート

実施期間 4月17日～22日

調査方法 ①FAX対応が可能な会員事業所1,698会員にFAXを送付し回答を求めた

② 会議所ホームページ、Facebook上に掲載し回答を求めた

回答件数 462件

② 持続化給付金の申請状況に関するアンケート

実施期間 7月6日～10日

調査方法 ①FAX対応が可能な会員事業所1,684会員にFAXを送付し回答を求めた

②他の会員事業所942会員には、郵送により用紙を送付し回答を求めた

回答件数 618件

③ 【2回目】 新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急アンケート

実施期間 9月16日～25日

調査方法 8月末時点の会員2,655事業所を対象にFAX及び郵送で回答を求めた

回答件数 517件

(4) 西宮市感染症対策PRステッカーの配布(実施 9月2日～10月30日)

西宮市では、新型コロナウイルス感染拡大防止と社会活動の両立を図るために「感染症対策PRステッカー」を作成した。当所では、武庫川女子大学「経営学部」の学生20名と市内店舗を訪問し、感染拡大防止対策の確認を行うとともに、ステッカーの配布を行った。

訪問件数：183件

配布件数：106件

(5) 北部地域における新型コロナウイルス関連出張経営相談室(実施 12回)

相談 51件

内容 経営相談 3件、雇用相談 3件、助成金相談 17件、融資・助成金相談 19件

融資相談 9件

1. 中小・小規模事業者の支援

(1) 経営改善普及事業

①巡回訪問による経営指導や情報提供の強化(目標：全会員)

小規模事業者を対象に、経営革新、情報化、金融、労務問題はじめ幅広い経営相談に対応するとともに、中小企業施策を周知するため、関連小冊子などを作成・配布した。

巡回指導件数 1,473件、窓口指導件数 3,668件

②マル経融資(小規模事業者経営改善資金)及び各種制度融資の利用促進

斡旋件数 22件、斡旋金額 145,900千円

③様々な経営課題を解決するための専門家派遣、個別相談会の実施

◇特別専門相談事業(法律・税務・経営・労働・技術・特許等)

中小企業経営の各種の問題を解決するために、法律・経営・税務・労働・特許・取引の専門家を配置し、具体的なアドバイスを行った。

相談 226件(税務相談(72件)、経営相談(11件)、法律相談(7件)、労働相談(37件)、特許・商標・著作権相談(3件))

◇記帳継続指導

委嘱税理士 4名、指導実績 75事業者に対して延べ311日の指導を行った。

◇講習等の開催による集団・個別指導(特別専門相談を含む)

集団指導 3回、68事業者、個別指導 40回、124事業者

◇「働き方改革」相談窓口(実施 13回)

概要 社会保険労務士による、キャリアアップ助成金等、雇用に際して活用できる助成金や、就業規則・労務契約等に関する相談会

共催 西宮地区雇用対策協議会、協力兵庫県社会保険労務士会西宮支部

※2月からは兵庫県働き方改革推進支援センターの主催に移行

相談 38件

- ④兵庫県よろず支援拠点サテライト設置による相談機能の強化(実施 12回(毎月))
相談 延べ12件

(2) 制度改正に伴う専門家派遣等事業

働き方改革関連法等の労働法制、消費税率の引上に伴う価格転嫁対策や消費税軽減税率制度及び適格請求書等保存方式(インボイス)等の税制度、民法改正等の制度変更の円滑な対応のため、専門家を派遣し支援した。

- ◇IT、設備投資に関するもの：6件12回
- ◇キャッシュレス決済に関するもの：1件3回
- ◇営業、顧客に関するもの：21件39回
- ◇事業承継に関するもの：1件1回

(3) 小規模事業者支援法(令和元年改正)に基づく経営発達支援計画(2期目)の推進

①新経営発達支援計画(2期目)の実施

令和元年度に大幅改正された小規模事業者支援法に基づき、西宮市と共同で第2期経営発達支援計画を作成し、経済産業省に申請し、経済産業省の認定を受けた。第2期経営発達支援計画に基づき、伴走型支援事業を実施した。

②伴走型小規模事業者支援推進事業の実施(期間 9月～令和3年2月)

- (ア) 内容 経営分析・事業計画作成に係る支援ツールの導入
件数 5事業所
- (イ) 内容 専門家派遣による事業計画策定後の実施支援
件数 2事業者に対し、延べ3回派遣

◇経営発達支援計画事業評価委員会(実施 令和3年3月25日)

場 所 西宮市立勤労会館 第1会議室

参 加 委員3名

議 題 令和2年度経営発達支援計画の事業実施結果について
令和3年度経営発達支援計画の事業概要について

(4) 小規模事業者支援法(令和元年改正)に基づく事業継続力強化支援計画(1期目)の推進

①西宮商工会議所BCPフォームの策定

事業継続の基本方針、対応体制・指揮命令系統、重要業務と目標復旧時間、対応拠点等を整理し、策定した。令和3年度は、このフォームを実効性あるものとするために、関係者の理解を促し、運用・修正のフェーズとしていく。

②指定感染症BCPフォームの策定

指定感染症の大流行に備え、事前対策、感染防止対応、ならびに業務の継続、縮小、休止に関して、行動基準・実施基準を制定した。

(5) 中小・小規模事業者が抱える経営課題への対応

①経営革新等認定支援機関としての支援(ミラサポ、経営力向上計画策定など)

概要 国の補助事業等において必要とされる認定支援機関として役割を果たしている。

補助事業等名 先端設備等導入計画、緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金等

②小規模事業者持続化補助金、ものづくり補助金、IT導入補助金などの活用支援

◇ものづくり補助金の承認を目指す事業所の支援を行った。

支援件数：4社

承認件数：3社

◇小規模事業者持続化補助金「事業支援計画書」作成

支援 603件

◇専門家派遣

概要 中小企業診断士、技術士など専門家の派遣による事業所の問題解決を行った。

支援 44社

③経営革新計画の策定支援

概要 中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画の承認を目指す事業所の支援を行った。

支援 3社、承認 3社

④環境経営、健康経営、働き方改革、事業継続計画(BCP)の推進

事業継続力強化計画の承認を目指す事業所の支援を行った。

支援件数：4社、承認件数：3社

⑤日本政策金融公庫や地域金融機関との連携強化

(ア)定例融資個別相談会

実績 開催 8回、相談 38件、融資決定 6件

対応 日本政策金融公庫神戸東支店の融資担当者

(イ)パンフレットスタンドによる金融機関等のマル経融資制度等の情報発信

実績 西宮市内金融機関15カ所、税理士事務所5カ所

内容 中小企業等向け公的融資制度等のパンフレットを置き、情報発信を行った。

⑥市内大学との産学連携の推進

◇武庫川女子大学と市内事業者との産学連携(実施 6月25日、7月30日、11月19日、12月16日)

武庫川女子大学 赤岡ゼミ 先生、学生9人

2. 起業・事業承継の支援

(1)起業フェーズにおける切れ目のない支援

◇起業塾(実施 全2回(11月7日~21日))

概要 西宮市内において起業予定の方及び起業間もない方、又は西宮市在住で起業予定の方及び起業間もない方を対象とし、専門家指導のもと明確な事業計画を策定することで、西宮市

内の起業家を育成することを目的としたものであり、オンラインとオフラインそれぞれで2日間の講座を開催した。

講師 有限会社未来教育設計 代表 吉住 裕子 氏

受講 36名

◇経営者塾(実施 12月1日～令和3年2月4日)

概要 起業間もない方や経営のステップアップを目指す小規模事業者を対象に、課題ごとに各3回のワークショップを開催し、参加者の課題の解決と人脈の拡大を図った。

受講 76名

- 内容 ①女性起業家ステップアップコース：講 師：みらいラフター 田中 久美子 氏
日本スケジューリング協会 浅野 夏悠 氏、
株式会社 Table d'or 三好 万記子 氏
- ②ZOOM 活用&動画配信コース：講 師：モバイルエール 橘 明日香 氏
- ③ネットショップ活用コース：メイン講師：桜花プランニング 西村 陽太 氏
ゲスト講師：florencia non non 清水 紀子 氏
- ④POP・DM作成コース：講 師：イグレック 田中 洋介 氏
- ⑤プレスリリース発信コース：講 師：(株)マジック・マイスターコーポレーション
大谷 芳弘 氏
- ⑥SNS活用コース：講 師：モバイルエール 橘 明日香 氏

◇飲食店セミナー(実施 11月27日)

参加者 10名

講師 兵庫栄養調理製菓専門学校 柏木 直樹 氏

◇専門家相談(実施 10月27日～令和3年3月5日)

派遣件数 9件、11回

(2) (仮称)西宮起業家支援センターの企画委員会の設置

令和4年春竣工予定の新商工会館内に設置するため、市内で起業予定及び起業間もない方を対象とする「(仮称)西宮起業家支援センター」の企画委員会を立ち上げ、意見書にまとめた。

メンバー：中小企業診断士、市内の大学関係者、起業家、西宮市商工課、西宮商工会議所

回数 3回

(3) 事業承継の支援

◇兵庫県事業引継ぎセンターとの連携

事業承継の課題をもつ事業者に対して、巡回・窓口相談等で「事業承継診断ヒアリングシート」に沿った状況を整理し、内容に応じて、兵庫県事業引継ぎ支援センターへの橋渡し、士業・金融機関等への引継ぎ等を行いながら継続的に支援している。

毎月1回、事業承継診断実施件数を確認しており、令和2年度は延べ11件の支援を実施した。

3. 雇用対策・人材育成の支援

(1) 企業の採用力を強化する取り組み

① ウィズコロナ時代の人材採用対策セミナーの開催(実施 11月25日)

- 内容 ・新型コロナウイルスの影響で採用マーケットはどうなったか
・ウィズコロナ時代の採用手法の変化
・今後の採用マーケットの見通しは？トレンドは？

講師 NPO 法人ほつく・らぼ 理事長 中尾 博 氏

参加 13名

(2) 新型コロナウイルスに負けない企業力強化支援事業

① 新型コロナウイルス対策セミナー(実施 10月30日)

- 内容 第一部：産業医が語る第3波に対して企業が出来る対策とは
第二部：第3波に備える在宅ワークのノウハウを知る

講師 第一部：みどり労働衛生コンサルタント事務所 産業医 谷口緑 氏

第二部：(株)テレワークマネジメント 代表取締役 田澤由利 氏

参加 28名

② 金融保険・食品産業部会合同セミナー(実施 令和3年1月19日(オンラインとのハイブリット))

内容 ウィズコロナにおける企業のあり方

講師 株式会社日本総合研究所 ストラテジー&組織・人材開発グループ

岡田 昌大 氏・水野 さくら 氏・加藤 彰 氏

参加 15名

③ 職場改善のためのオーダーメイド型(講師派遣型)研修の実施

人材育成をテーマにしたオーダーメイド型の研修実施を公募し、10社に対して研修を行った。

(3) 西宮地区雇用対策協議会との連携事業

新入社員研修、新入社員フォローアップ研修、就業規則などセミナーの開催

◇ 新入社員研修事業(実施 計2日間(9月17日/18日))

受講者数 50名(21事業所)

◇ 就業規則オンラインセミナー(実施 令和3年1月19日)

内容 ウィズコロナ時代の就業規則/同一労働同一賃金と就業規則

講師 牧野社会保険労務士事務所 代表 牧野恭子氏

参加 12名

(4) 兵庫働き方改革推進支援センターとの連携

◇ 働き方改革相談窓口(実施 4月～令和3年9月(13回実施))

場所 勤労会館

主催 西宮地区雇用対策協議会、西宮商工会議所/兵庫県働き方改革推進支援センター
協力 兵庫県社会保険労務士会西宮支部
相談件数 38件

(5) 西宮市雇用継続相談事業の実施

◇雇用継続相談会(実施 4月～令和3年3月(20回実施))

新型コロナウイルス感染拡大に伴う雇用調整助成金等の支援策等に対し社会保険労務士がアドバイスを行う。

相談件数 89件

◇雇用継続アドバイザー派遣(実施 7月～令和3年3月)

新型コロナウイルス対策により浮き彫りになった多様な働き方への対応その他労務に関する相談に社会保険労務士が個別対応する。

相談者数 延べ22事業所

4. 販路開拓の支援

(1) 国際フロンティア産業メッセ2020への共同出展(開催 9月2日～3日)

西宮市内の中小・小規模企業等で販路拡大にチャレンジする事業所、キラリとひかる特徴のある製品の販売やものづくり等を行う事業所を対象に、革新性の高い商品・サービスを阪神間の企業にPRするため、「国際フロンティア産業メッセ2020」に出展し、新たな販路確保を支援した。

場所 神戸国際展示場1・2号館(神戸ポートアイランド)

出展 参加事業所数22社(会場全体317社・団体)

(ア) 出展時の販促活動に関する個別支援

- ・ 専門家派遣日 8月7日、12日、18日、21日
- ・ 延べ支援回数 8回

(イ) 展示会出展時の共同配布物作成

- ・ 出展事業者紹介パンフレット 2,000部
- ・ コーヒードリッパーパック 2,000個
- ・ オリジナルクリアファイル 2,000枚

(2) 阪神南リーディングテクノロジー(LT)認定企業の支援

地域ものづくり産業の基盤強化を目指し、リーディングテクノロジー(LT)に認定した企業を対象に、技術面での助言・指導等を通して、コア技術の高度化や新技術の実用化を支援するとともに個別企業と地域産業の活性化に貢献する。

概要 「阪神南ものづくりイノベーショングループ」として国際フロンティア産業メッセ2020に共同出展を行った

日時 9月2日～3日

場所 神戸国際展示場1・2号館(神戸ポートアイランド)

出展 16社(内、市内事業所5社)

(3) SNSや各種メディアの活用による販路拡大を目指すIT活用セミナーの実施

コロナ禍により、DX(デジタルトランスフォーメーション)やライブコマース、ライブ配信を検討している市内事業所を対象に、啓発オンラインセミナーを開催し有益な情報を提供した。また、実際にライブ配信に挑戦する会員事業者2名をパネリストに迎え、新しい生活様式に合った情報発信についてパネルディスカッションをオンライン配信し、各事業所の行動変容を図った。

◇オンラインセミナー①(実施 7月22日)

第一部 今なぜDXなのか? デジタル活用が生み出す新たな価値

講師 有限会社ゑびや 代表取締役 小田島 春樹 氏

第二部 コロナ時代の新しい売り方 非対面コミュニケーションで重要なこと

講師 doushi 代表 清水 章充 氏

参加 57名

◇オンラインセミナー②(実施 9月8日)

演題 ライブ配信実践者に聞く! オンラインパネルディスカッション

ファシリテーター SOE 岡 堅太 氏

パネリスト① ゆげ焙煎 岡本 靖広 氏

パネリスト② chouchou 上田 美希 氏

参加 51名

(4) 事業者間のマッチング支援

◇ザ・ビジネスモール等

登録 当所会員 278 事業所(内、プレミアムメンバーサービス(有料) 4 事業所)

5. 持続可能な社会の実現

(1) エコタウンづくり推進特別委員会の開催

① 関連セミナーの開催(開催中止)

◇西宮市環境計画推進パートナーシップ会議(中止)

西宮市の新環境計画を具体的に推進するために、市民・事業所・行政の参画と協働の仕組みを運営する市民団体、事業所、専門家、行政代表で構成される組織で、当所は委員として参画している。

(ア) 廃棄物減量推進部会(実施 令和2年8月28日、2回目書面開催)

平成31年3月に策定した「西宮市一般廃棄物処理基本計画」を推進し、計画の目標管理や方針決定を行うために、「西宮市新環境計画」の廃棄物減量部門について検討した。

◇持続可能な地域づくりサポート基金・にしのみや

市内各地域でエコ活動に取り組む小中学生や住民の活動を資金面で支援するために、平成21年11月に当所・西宮ロータリークラブ、NPO法人こども環境活動支援協会が基金を設立。辰馬会頭が基金管理運営委員会の代表を務めている。令和2年度は、甲東・春風・平木・甲陽園・甲子園口・神原・山口・大社・北六甲台の各エココミュニティ会議に活動支援金を授与した。

(2) SDGs (持続可能な開発目標) の推進

① 関西 SDGs プラットフォームへの参画

SDGs への取組みが人類社会全般に重要であることに鑑み、当所としても西宮市内は元より関西圏において持続的社会的構築に向けた活動や高い社会的価値を生み出す経済活動を加速していく契機とするために「関西 SDGs プラットフォーム」へ参画している。

② SDGs の活用支援

SDGs の専門家を活用し、事業者の課題に応じた SDGs の推進支援を行った。

支援件数：1 社

第 2 地域力を強化する ～地域特性を活かし産業基盤を支える～

1. 地域資源のブランド化

(1) 日本酒の振興

西宮日本酒振興連絡会(西宮酒造家十日会、酒造関係業者、西宮観光協会、西宮市)は、本市の地場産品である日本酒による乾杯の習慣を広めることにより、酒文化を全国に発信するとともに、「日本酒」のイメージ向上や販路拡大を図り、西宮の経済を活性化することを目的に、「“西宮の日本酒”振興プロジェクト事業」を市内各所で実施した。

① 西宮酒ぐらルネサンスと食フェア(中止)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、催行中止となった。

◇ 西宮酒ぐらルネサンスと食フェア公式サイト開設

当イベントの情報発信力強化や散逸していた過去の開催記録などをアーカイブとして残すため、西宮酒ぐらルネサンスと食フェア公式サイトを立ち上げた。

② 西宮日本酒学校の開催

◇ 「にしのみや日本酒学校」の開校(中止)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、催行中止となった。

◇ 蔵開(くらびらき)2021(中止)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、催行中止となった。

◇ 西宮蔵出 2021

蔵開を行う 6 社による飲食を伴わない日本酒の合同販売会「西宮蔵出 2021」を当初令和 3 年 2 月 13 日に六湛寺公園にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の延長により 3 月 13 日に延期して十分な感染症対策をとったうえで開催した。

(2) 第 21 回西宮洋菓子園遊会の開催(中止)

新型コロナウイルス感染予防対策のため開催中止

(3) 西宮洋菓子研究会の自主的な運営を支援

西宮洋菓子園遊会の代替イベントとして、オンラインでの参加型イベントを開催した。

◇イベント「市内洋菓子店パティシエによるリアルタイム動画配信」開催(実施 11月14日)

場所 ネットテラス夙川店より Zoom 配信

参加 5 店舗

(4) 和菓子の地域ブランド「とおかし」の支援

西宮神社で斎行される旬祭「十日参り」にて奉納・配付される和菓子「とおかし」を、市内和菓子店 11 店舗が月替わりで納めた。併せて、各店舗にて自店の「とおかし」を毎月 10 日限定で販売するほか、西宮阪急 11 周年催事に出店した。

(5) 新たな地域資源の発掘と活用支援

新たな地域資源としてコーヒーに着目し、西宮市内の事業者、西宮市、西宮観光協会とともに「にしのみやコーヒーの扉プロジェクト」を立ち上げ、公式ホームページを開設し、西宮阪急での合同販売会を行った。

(6) 西宮市・西宮観光協会と連携した「まちなか観光」の推進

西宮市・西宮観光協会とともに、西宮の「まち」を楽しむ着地型観光プログラム「まちたび にしのみや 2020」を推進した。

(7) ソーシャルギフト「どーぞにしのみや」の開発支援

事業継続のために早期売上回復を企図した取り組みを行うことを目的に、市内事業者が展開するソーシャルギフトサービス「みやげっと」を活用したコンテンツ「どーぞにしのみや」の導入と中小企業・小規模事業者のギフト商品開発支援を行った。

参加 10 事業者

2. 商店街・まちなか活性化の推進

(1) 西宮市商店市場連盟との連携

西宮市商店市場連盟と連携し、小売市場並びに商店街等を支援した。また、同連盟の定例理事会に参加し、実施事業に係る情報交換や関連事業に対し後援等のサポートを行った。

(2) 地域商店街イベント開催の支援

地域商店街のバル等開催はなし

(3) 兵庫県・西宮市の商店街新規出店・開業等支援事業補助金、空き店舗整備活用事業(空き店舗補助金)の活用支援

商店街・小売市場内の空き店舗で新規開業される方への助成金について、開業を希望する事業所を支援した。結果、県制度 1 事業所、市制度 4 事業所に助成金が交付決定された。

(4) 兵庫県阪神南県民センターの地域活性化集客イベント支援事業の活用支援

地域のにぎわいを創出し、当地域の魅力を広く内外に発信し、交流人口の増加を図るため、観光関係団体や商店街・小売市場、実行委員会等が実施する集客・交流イベントを支援、市内 9 団体の申請があった。

第3 組織力を強化する ～組織体制を強化し会員満足度を高める～

1. 新規会員の獲得と定着

(1) 会員増強検討会議による組織一丸となった会員増強の推進

(a) 第1回(実施 12月10日、議題 (a) 会員総数の変遷 (b) 退会理由の分析)

(b) 第2回(実施 令和3年3月8日、議題 (a) 会員総数の変遷 (b) 退会理由の分析)

(2) 全会員への巡回訪問による会員満足度の向上

会員との関係性を強化し会員満足度を向上するため、全会員への巡回訪問を目標に取り組み、令和2年度は、74.8%の会員事業所との巡回・窓口等による接触を図った。

2. 組織財政基盤の強化

(1) 会議所共済制度の推進による会員事業所の福利厚生の実施支援

万が一に備えた生命共済(くすのき共済)や従業員の退職金の積立制度である特定退職金共済制度など、会員事業所の福利厚生を目的に推進している。

(2) 西宮商工会館の運営

貸し会議室の利用回数は延べ 872 回であった。新型コロナウイルス感染拡大を受けて各種イベント等の自粛が行われたことにより一般利用は大幅に減少したものの、持続化給付金及び家賃支援給付金の申請サポート会場として会議室を長期間貸し出したこと、確定申告期間が延長されたことにより申告会場としての会議室利用も延長となったことから、前年度に比べて全体の利用回数が大幅に増加した。

(3) 商工会議所検定(日本商工会議所、東京商工会議所)の普及・推進、試験の施行

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、日本商工会議所検定のうち簿記検定は6月の試験が全国的に中止となった。また11月の試験については外部会場(関西学院大学)が使用できなくなるなどしたため、試験会場を西宮商工会館のみに絞って開催した。

また、東京商工会議所検定においては前期の試験が全国的に催行中止となった。

各種検定試験の実施回数は次のとおりである。

◇日本商工会議所検定試験

・簿記 計6回(1級/2回、2級/2回、3級/2回)

・簿記初級(ネット検定) 随時施行

・原価計算初級(ネット検定) 随時施行

・リテールマーケティング(販売士)検定試験 計2回(2級/1回、3級/1回)

- ・日商PC(文書作成/ネット検定) 2級・3級・BASIC 随時施行
- ・日商PC(データ活用/ネット検定) 2級・3級・BASIC 随時施行
- ・日商PC(プレゼン資料作成/ネット検定) 2級・3級 随時施行
- ・電子会計実務(ネット検定) 2級・3級 随時施行
- ・ビジネスキーボード(ネット検定) 随時施行
- ・キータッチ2000(ネット検定) 随時施行
- ・日商プログラミング(ネット検定) ENTRY、BASIC、STANDARD、EXPERT 随時施行
- ・日商ビジネス英語 2級・3級 随時施行
- ・DCプランナー 問い合わせ対応を行った

◇東京商工会議所検定試験

- ・ビジネス実務法務検定試験 1・2・3級 計 3回
- ・カラーコーディネーター検定試験 1・2・3級 計 3回
- ・福祉住環境コーディネーター検定試験 1・2・3級 計 3回
- ・環境社会(eco)検定試験 計 1回
- ・BATIC(国際会計)検定試験 subject1・2 計 2回
- ・ビジネスマネジャー検定試験 計 1回

(4) 珠算検定(日本珠算連盟)の普及・推進、試験の施行、競技大会の開催

令和2年度における珠算競技大会の開催回数は次のとおりである。

◇珠算検定及び珠算競技大会 計23回

上級珠算検定試験/2回、暗算検定試験/6回、下級珠算検定試験/4回、暗算準級検定/4回、
段位認定試験/2回、準級珠算検定試験/4回、珠算競技大会/1回

(5) 会議所パソコン教室の運営

◇IT啓発事業(パソコン教室)

小規模事業所のIT化推進とIT人材育成は、市域経済の活性化にも資する事業である。

受講者数 一般市民を含め延べ27,300余名

(6) 職員の資質及びモラルの向上

経営指導員研修(一般1回、特別・専門3回)や日本商工会議所主催の事業担当者別研修を受講するなど、職員全体の資質向上を図った。

(7) 議員総会・部会・委員会活動の活性化、青年部・女性会活動の支援

①議員総会

- ・第151回通常議員総会(実施7月16日 書面決議)
[協議事項]定款の改正、規則の改正、令和2年度事業計画(案)、令和2年度収支予算(案)、
令和元年度事業報告(案)、令和元年度収支決算報告(案)、令和元年度収支決算
監査報告、顧問の委嘱
- ・臨時議員総会(実施12月14日、第636回常議員会と合同開催、書面決議)
議事については、常議員会出席者に臨時議員総会もあわせて承認をいただき、欠席されている

常議員及び議員に対しては「議決権行使書」を送付し、「書面表決」により最終的に決議を行う。

[協議事項]令和2年度予算の補正(案)、会員入退会の承認

[報告事項]令和3年度西宮市政に対する要望、新西宮商工会館の建設推進

令和2年度事業進捗状況等

- ・第152回通常議員総会(実施 令和3年3月18日、第637回常議員会と合同開催)

[協議事項]令和3年度事業計画(案)、令和3年度収支予算(案)、定款の一部改正

当所顕彰規程等による顕彰、会員入退会

[報告事項]議員の異動、新西宮商工会館建設推進特別委員会開催報告、

令和2年度委員会開催報告

事務報告(西宮市施策並びに令和3年度予算に関する要望に対する回答報告、その他)

②常議員会

通期4回の常議員会を開催し、以下について諸課題が審議された。

[協議事項]

- ・定款、諸規則等の改正
- ・令和元年度事業報告(案)、収支決算(案)
- ・令和2年度事業計画(案)、収支予算(案)
- ・令和3年度事業計画(案)、収支予算(案)
- ・当所顕彰規程等による顕彰及び弔意
- ・会員入退会

[報告事項]

- ・議員の異動
- ・新西宮商工会館建設推進特別委員会開催報告
- ・新西宮商工会館の建設推進
- ・新型コロナウイルス感染症の影響長期化を踏まえた中小・小規模事業者の事業継続及び事業再開への支援に関する提言書
- ・第2回新型コロナウイルス感染症に関する緊急アンケート集計報告
- ・令和3年度県政要望、市政要望
- ・令和2年度事業進捗状況等
- ・令和2年度委員会開催報告

◇兵庫県 ビジョンを語る会

第636回常議員会(実施 令和2年12月14日)

意見交換：テーマ『「兵庫県の2050年の将来展望について」』

出席：兵庫県副知事 金澤 和夫 氏、兵庫県阪神南県民センター長 正垣 修志 氏

③正副会頭会議

通期10回開催し、令和元年度会議所事業報告・決算、令和2年度会議所事業活動方針、令和3年度会議所事業計画・予算、令和3年度兵庫県・西宮市への予算要望、新西宮商工会館の建設推進などを中心に諸課題について協議した。

④議員協議会

開催せず。

⑤議員懇談会・議員懇親会

新型コロナウイルス感染予防対策により中止。

⑥議員クラブ

当所活動への役員・議員の積極的な参画と相互の親睦のため議員クラブ事業活動を行った。

◇ゴルフ大会(中止)

◇ハイキング大会(中止)

◇議員懇親会(中止)

◇研修視察旅行(中止)

◇社会貢献事業

- ・事業助成 第29回西宮商工会議所くすの木コンサート 中止(「第30回記念大会」に向けて一部助成)
- ・基金寄附 持続可能な地域づくりサポート基金・にしのみや

⑦委員会

(ア)総務企画委員会

第1回(6月24日) 令和元年度事業報告(案)、令和元年度収支決算報告(案)

第2回(12月2日) 令和2年度予算の補正(案)、令和3年度西宮市政に対する要望、新西宮商工会館建設推進特別委員会報告、令和2年度委員会の事業進捗状況報告、第636回常議員会・臨時議員総会

第3回(令和3年3月3日) 第637回常議員会・第152回通常議員総会合同会議の議案(令和3年度事業計画(案)、令和3年度収支予算(案)、定款の改正)、新西宮商工会館の建設推進

(イ)企業力強化委員会

第1回(12月7日) 令和2年度事業進捗報告及び補正予算、令和3年度事業計画、新型コロナウイルス感染症に係る事業への影響

第2回(令和3年3月9日) 令和3年度事業計画(案)及び予算(案)、新商工会館の建設

(ウ)地域力強化委員会

第1回(12月8日) 令和2年度事業進捗報告及び補正予算、令和3年度事業計画、新型コロナウイルス感染症に係る事業への影響について 等

第2回(令和3年3月8日) 令和3年度事業計画(案)及び予算(案)、新商工会館の建設

(エ)組織力強化委員会

第1回(12月10日) 令和2年度事業進捗報告(案)、令和2年度補正予算(案)、令和3年度事業計画(案)、会員増強検討会議、新型コロナウイルス感染症の影響

第2回(令和3年3月8日) 令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)、定款の改正、新商工会館の建設推進、会員増強検討会議

(オ)エコタウンづくり推進特別委員会

※未開催

(カ)新西宮商工会館建設推進特別委員会

第3回(6月24日) 新西宮商工会館の建設推進について～基本計画の検証・見直し～

第4回(11月17日) 実施設計の完了、工事発注方式及び業者決定方法、テナント床の貸与、覚書の締結、今後のスケジュール

第5回(12月22日) 新商工会館建設工事施工業者の応募状況、新商工会館建設工事施工業者の評価、新商工会館建設工事施工業者の決定、今後の予定

第6回(令和3年3月2日) 新西宮商工会館の建設推進 ・施設計画の見直し ・資金計画の見直し ・収支計画の見直し ・管理計画の見直し

⑧部会

(ア)食品産業部会

- ・セミナー(令和3年1月19日) 参加 15名 ※金融保険業部会と共同開催

講演 withコロナにおける企業のあり方～戦略の再構築と戦略の浸透・実行～

講師 株式会社日本総合研究所 ストラテジー&組織・人材開発グループ コンサルタント

岡田 昌大 氏、コンサルタント 水野 さくら 氏、シニアマネジャー 部長 加藤 彰 氏

(イ)工業部会

- ・セミナー(令和3年1月28日) 参加 24名 ※不動産業部会、交通運輸業部会と共同開催

講演 BCPセミナー「自然災害・感染症のリスクに備える」

企業が取り組むべき「事業継続計画(BCP)」策定のポイント

講師 MS&ADインターリスク総研株式会社関西支店災害・事業RMグループ

マネージャー・上席コンサルタント 小島 勝治 氏

(ウ)建設業部会

- ・令和3年度西宮市への要望書提出(8月27日) 参加 10名(西宮市7名、部会役員3名)

(エ)小売業部会

- ・セミナー(11月26日) 参加 28名 ※情報・生活サービス業部会と共同開催

講演 ウィズコロナ時代のストーリーブランディング

講師 ㈱doushi 代表取締役 清水 章充 氏

(オ)卸売業部会

令和3年2月実施予定であったが新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(カ)専門サービス業部会

令和3年2月実施予定であったが新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(キ)情報・生活サービス業部会

- ・セミナー(11月26日) 参加 28名 ※小売業部会と共同開催

講演 ウィズコロナ時代のストーリーブランディング

講師 ㈱doushi 代表取締役 清水 章充 氏

(ク)不動産業部会

- ・セミナー(令和3年1月28日) 参加 24名 ※工業部会、交通運輸業部会と共同開催

講演 BCPセミナー「自然災害・感染症のリスクに備える」

企業が取り組むべき「事業継続計画(BCP)」策定のポイント

講師 MS&ADインターリスク総研株式会社関西支店災害・事業RMグループ

マネージャー・上席コンサルタント 小島 勝治 氏

(ケ)金融保険業部会

- ・セミナー(令和3年1月19日) 参加 15名 ※食品産業部会と共同開催

講演 withコロナにおける企業のあり方～戦略の再構築と戦略の浸透・実行～

講師 株式会社日本総合研究所 ストラテジー&組織・人材開発グループ コンサルタント

岡田 昌大 氏、コンサルタント 水野 さくら 氏、シニアマネジャー 部長 加藤 彰 氏

(コ)交通運輸業部会

- ・セミナー(令和3年1月28日) 参加 24名 ※工業部会、不動産業部会と共同開催

- 講演 BCPセミナー「自然災害・感染症のリスクに備える」
企業が取り組むべき「事業継続計画(BCP)」策定のポイント
- 講師 MS&ADインターリスク総研株式会社関西支店災害・事業RMグループ
マネージャー・上席コンサルタント 小島 勝治 氏

⑨青年部

会員相互の啓発と親睦を図り、企業経営者としての研鑽に努め、当所の事業活動の一翼を担い、もって地域中小企業の総合的振興・発展と社会福祉の増進に寄与することを目的としている。令和2年度末の会員数は145名である。

令和2年度上半期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、役員会及び定時総会は書面決議で実施。10月以降は、感染拡大防止策を徹底しながら納涼会やスポーツ研修会等を実施した。

⑩女性会

当所会員事業所の女性経営者及び経営に携わる女性で組織されており、女性ならではの太陽のような明るさとやさしさを胸に秘め、お互い励ましあって経営課題の解決を図っている会である。全国的なネットワークを活かし幅広い情報収集や交流事業・勉強会等を通じての経営力向上や自己研鑽を行っている。令和2年度末の会員数は29名である。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、当所や他の商工会議所女性会との交流会や諸事業の多くを中止した。

3. 情報発信力と会員事業所の繋がり強化

(1) 所報「れぼると」の内容充実、ホームページ・SNSの運営

◇西宮商工会議所所報(れぼると)の発行

当所事業の案内や活動状況、法律・税制の改正や兵庫県・西宮市の政策などを広報し、併せて会員事業所の紹介などを行うために、当所所報 Report(れぼると)を年12回発行した。また、会員事業所PRチラシを所報同封できる「PR便」サービスは令和2年度40社の利用があった。

◇ホームページとフェイスブック

ホームページやフェイスブック(Facebook)を通じて会員事業所を始め市内事業所等へ、当所事業を迅速に発信した。

- ・各種情報更新回数：185回/年、訪問数：7,550件/月平均、
- ページビュー数：16,077ページ/月平均

(2) 外部報道機関への情報提供の推進

市民向け大規模イベントや新型コロナウイルス関連緊急経営相談会など、ニュース性がある取り組みについて、西宮市市政記者クラブにて記者レクを行うとともに、マスコミ各社の取材に積極的に応じ、会議所活動の情報発信に努めた。

(3) 全会員への巡回訪問

会員との関係性を強化するため全会員への巡回訪問を目標に取り組み、令和2年度は、74.8%の会員事業所との巡回・窓口等による接触を図った。

(4) 会員サービス事業の推進

① 労働保険事務の代行

◇ 労働保険事務組合

労働保険の加入手続きや保険料の申告納付、その他労働保険に係る手続きを、事業主に代わって行った。また、事業主の労災保険の特別加入も条件付で認められる。

令和2年度末受託事業所：120 事業所(新規委託 20 事業所、委託解除 6 事業所)

② 貿易関連証明の発給

近年の経済摩擦、輸入制限や新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の発給件数は、741 件(前年 781 件、前々年 839 件)と減少状態となっている。またサイン証明も、登録事業所の移転等に伴い 364 件(前年 387 件)と減少傾向となった。

③ 小規模企業共済、経営セーフティ共済(中小機構)の事務委託

◇ 小規模企業共済制度

この共済は、経営者のための退職金積立の制度で、令和2年度は20件の新規加入があり、年度末の加入者数は615件となった。

◇ 経営セーフティ共済(中小企業倒産防止共済)制度

この共済は、取引先事業者の倒産による連鎖倒産や経営難に陥ることを防止するための制度で、令和2年度は6件の新規加入があり、年度末の加入者数は81件となった。

④ 健康診断、PET/CT 検診の受診料割引サービス

◇ 健康診断補助サービス事業

健康診断を希望する会員事業所に対し、当所が料金の一部を補助する利用券を発行している。今年度は、39 事業所、368 名の利用があった。

兵庫医科大学病院と提携して、PET/CT 検査と人間ドック健診を会員事業所に会員価格で提供している。今年度は、人間ドック検診—2 事業所 4 名、PET/CT 検査—0 事業所、0 名の利用があった。

◇ ひょうご DC プラン

神戸商工会議所とりそな銀行が共同運営する「確定拠出年金制度(DC 制度)」の推進をしている。

加入事業所数 令和2年度 0 件

(5) 賀詞交歓会の開催

令和3年賀詞交歓会(西宮商工会議所主催、公益社団法人西宮納税協会・一般社団法人西宮青年会議所・西宮貿易協会共催)

実施 令和3年1月6日、参加 約 260 名

(6) 「市民に拓かれた商工会議所」の推進

①くすの木コンサートなど、社会貢献活動の推進

◇第 29 回西宮商工会議所くすの木コンサート(新型コロナウイルス感染拡大により中止)

②国際交流活動の推進

西宮市が姉妹都市・友好都市・友好協力都市として提携している「アメリカ合衆国・スポーケン市」「ブラジル・ロンドリーナ市」「中国・紹興市」「フランス・アジャン市」の 4 都市との国際交流活動を支援している。

令和 2 年度は姉妹友好都市との周年事業等の実施はなかった。

4. 要望・提言活動の推進

(1)各部会・委員会活動、巡回などを通じての会員意見の集約

(2)国・兵庫県・西宮市などへの政策要望・意見の具申

(3)兵庫県・西宮市幹部と正副会頭との懇談会の開催

◇令和 3 年度西宮市予算編成に対する要望

11 月 30 日、辰馬会頭より石井市長に要望書を提出。令和 3 年 2 月 9 日、西宮市役所において、要望に関わる回答内容の説明と懇談会が開催され、石井市長から辰馬会頭に回答書が手渡された。

◇令和 3 年度年度兵庫県政に対する要望

8 月 27 日開催の兵庫県商工会議所連合会役員会において要望案が承認され、10 月 16 日、兵庫県商工会議所連合会家次会頭より兵庫県井戸知事に要望書を提出。令和 3 年 3 月 15 日に兵庫県より回答があった。

◇大阪国際空港及びその周辺地域活性化促進協議会(「空港活性協」)

関西経済の活性化を継続させるには、大阪国際空港の利便性を継続し、向上させることが必要であり、地元の 3 会議所(伊丹商工会議所、豊中商工会議所、池田商工会議所)がイニシアチブをとり、当所も地域総合経済団体として当会の運営に当たっている。

◇名神湾岸連絡線の整備について

神戸・尼崎・西宮商工会議所は兵庫県はじめ各市と連携し、名神湾岸連絡線の早期実現を国に対し要望している。

令和 3 年 2 月 26 日には、名神湾岸連絡線の令和 3 年度新規事業化に向けた手続きが開始され、また 3 月 30 日には、令和 3 年度予算における新規事業箇所として公表された。

(4)日本商工会議所・関西商工会議所連合会・兵庫県商工会議所連合会などの係機関との連携

- ・日本商工会議所 合同委員会、常議員会、議員総会などで協議を行った(11 回)
- ・関西商工会議所連合会 総会にて協議を行った(1 回)
- ・兵庫県商工会議所連合会 総会、各会議などで協議を行った(9 回)

第4 関連団体事務の受託

1. 西宮貿易協会

諸外国の事情・貿易情勢、貿易関連実務等に関する情報収集、在関西領事や西宮市の姉妹都市との交流促進等を図り、西宮市産業の貿易振興基盤の強化に寄与することを目的としている。会員数は17名。

- ・理事会・定時総会(書面)
- ・ベトナムビジネス入門オンラインセミナー(実施 11月5日) 出席 74名
講師: ジェトロ海外調査部 アジア大洋州課 課長代理 北嶋 誠士 氏

2. 西宮地区雇用対策協議会

芦屋市、宝塚市、西宮市に所在する事業所で組織され、各事業所の労働力の確保と安定を図り、地域経済の発展に寄与することを目的としている。会員数は60名。

- ・理事会・定時総会(書面による実施)
- ・新入社員フォローアップ研修(実施 9月17日・18日) 参加 50名
- ・就業規則オンラインセミナー(実施 令和3年1月19日) 参加 12名
- ・オンライン新春講演会(実施 令和3年1月27日) 参加 28名
- ・大卒求人懇談会(実施 令和3年3月17日)

3. 西宮珠算振興会

珠算能力の普及と珠算教育の振興を図るため、珠算教育に関する調査研究、講習会・競技会の開催やイベント等による普及活動や、商工会議所の行う珠算検定に対する協力を行っている。会員数は15名。

4. 西宮興親会

西宮の復興を目指す歴史ある親睦団体として、地域の活性化について、積極的に情報発信していくことを目指している。会員数は15名。

5. 西宮市商業近代化協会

小売市場並びに商店街が行う商業近代化・活性化事業等を側面から援助し、併せて西宮市の発展と消費者の便益を図ることを目的とした団体である。会員は34団体。

6. 一般財団法人西宮更生保護協会

令和2年11月12日の一般財団法人設立総会を経て、任意団体から一般財団法人となった。西宮市における更生保護事業を支援することを目的とし、更生保護諸団体西宮地区BBS会(西宮市保護司会・西宮市更生保護女性会・西宮市協力雇用主会)に対する支援、法務省の行う社会を明るくする運動等、犯罪非行予防活動に対する支援、その他更生保護に関する事業の充実発展に寄与する支援を行っている。会員数は147名。

7. 環境再生保全機構(徴収業務受託団体)

汚染負荷量賦課金申告・納付説明会の開催や、申告書等受理等の業務を受託している。
用紙申告3事業者、オンライン申告24事業者

8. 日本容器包装リサイクル協会

容器包装リサイクル法に基づく再商品化義務を履行するため、同義務を日本容器包装リサイクル協会に委託している。

受付状況 12月～令和3年3月 6件受付(今年度分、紙申込6件、オンライン申込0件)